人と地球の環境を考える

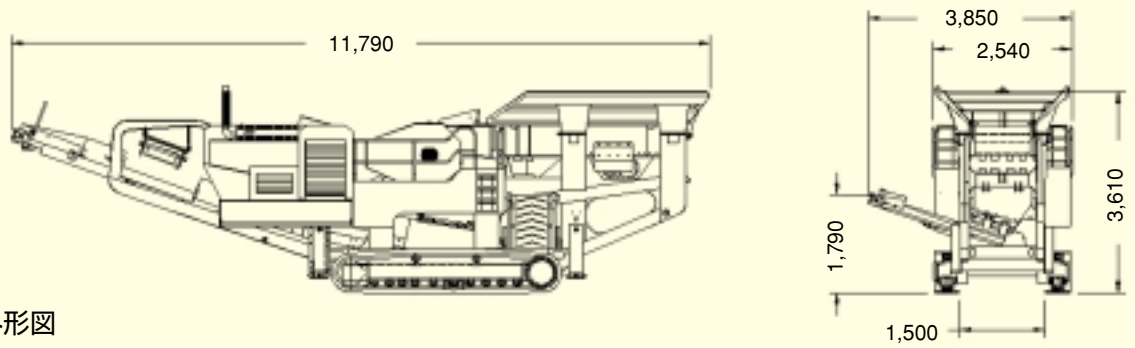
C-10 / C-12

クローラ自走、最新鋭ジョー・クラッシャ・シリーズ

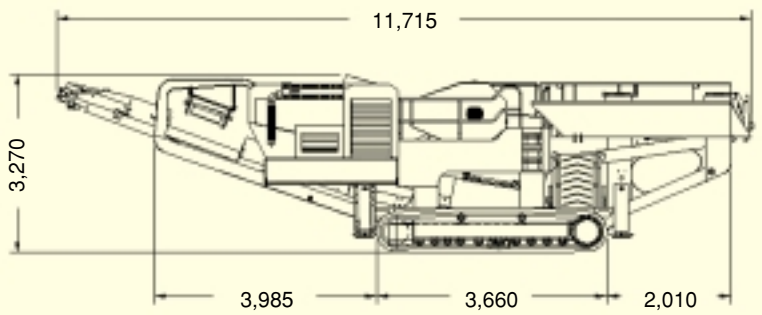
写真：C-10

●作業時外形図

単位：mm



●輸送時外形図



全幅：2,635

C-10

KATO EXTEC®

KATO EXTEC

C-10 / C-12 (クローラ自走／牽引可搬式、ジョークラッシャ機)

C-10及びC-12は、エクステック社製新型ジョー・クラシャユニットを搭載した、最新鋭の自走式ジョークラッシャ・シリーズです。クローラ自走式でありながら、トラクタによる牽引輸送が出来ます。(C-12)

砕石専用機としての原石破砕向きの強さと、建設・解体リサイクリング(鉄筋入りコンクリート破砕)用としてのさまざまな経験とアイディアが盛り込まれたスーパークラッシャです。C-12にインパクタ・ユニットを搭載した、高性能インパクタ(インパクト式破砕機)もあります。

＊ジョー供給口サイズ: C-10 = 1,000mm X 670mm / C-12 = 1,200mm X 750mm

特　　徴

- 油圧によりジョー開口調整が出来るジョー・クラッシャユニットを搭載、プロダクトサイズを調整するジョー開口調整は、シム交換等の作業を必要とせず非常に簡単に出来ます。この機構により、建設・解体リサイクリング用途で発生しがちな供給物噛み込み時に、リモコン操作だけで容易にジョー開口を最大にまで開き、噛み込んだものをメインコンベヤに排除させる事が出来ます。安全で現場の作業効率に大きく貢献します。
- 格納可能なメイン・コンベアによって現場内移動時は車体最低地上高を確保し、作業時は鉄筋の絡まり等を防止するためにクラッシャユニットとメイン・コンベアとの距離が大きく確保されています。
- 交換容易なジョー・プレート(歯)は上下反転させて使用出来ます。
- ジョーに対する負荷が高くなると、任意設定した時間(数分間)振動フィーダが自動停止します。又、スピードも任意の速度に調整できます。
- 不具合防止やメンテナンスのため、ジョー逆回転操作が出来ます。
- 機体全体のストレスは溜めず、振動を抑止する合理的な独自のシャーシデザイン。(アウトリガ4本付き)
- 現場内はクローラ自走式で、現場間移動にはトラクタによる牽引輸送が出来る。(C-12)

用　　途

- リサイクリング施設や現場における、建設・解体から発生するコンクリートや石材等の破砕。
- 砕石場内でダンプ輸送を削減する現場内移動型破砕作業。

主要諸元

モデル名	C-10 / C-12	コンベヤ総数	2
輸送形態	クローラ自走式、及びトラクタ牽引輸送(C-12)	サイド・コンベヤ	C-10: 幅　650mm X 2,800mm C-12: 幅　650mm X 3,100mm
機体質量	30.75ton / 50ton(含: 牽引輸送用ボギー)	メイン・コンベヤ	C-10: 幅　800mm X 8,500mm C-12: 幅 1,000mm X 10,000mm
エンジン	C-10: Deutz BF6M1013ECP(水冷) 166kW / 2,000min^{-1}(225PS / 2,000rpm) C-12: Deutz BF6M1015C(水冷) 273kW / 1,900min^{-1}(371PS / 1,900rpm)		
燃料タンク容量	390L / 420L	オプション: 磁選機 / 散水装置 / 各種ジョー・プレート等。	
作動油タンク容量	950L / 1,400L		
処理能力の目安(開口75mm時)	140～170ton / h / 170～200ton/h		

●本機の使用にあたっての注意事項は、取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。　●本カタログの写真ならびに装備は、改良などによりお届けします製品と異なる場合があります。
●仕様は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。　●ボディカラーおよび内装色は、撮影や印刷インクの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。

■お問い合わせは…

KATO 株式会社 加藤製作所
環境基礎機械事業部
〒140-0011 東京都品川区東大井1丁目9番37号
☎ 03(3458)1133番　FAX 03(3458)1855番
ホームページアドレス: http://www.kato-works.co.jp

C01491
8.2002-3000(NP) 1